

甲南大学リカレント教育センター

人生100年時代の 学びプログラム

2025^{年度}

受講生
募集

「人生100年時代」といわれる今日、
充実した豊かな人生を送るためには、
常に新たな知識を身につけることが重要です。
甲南大学は、若い世代が学ぶ場であるとともに、
様々な世代の方に「学び直し」の場を用意しています。
仕事をリタイアして次のステップをお考えの方、お子さんが成長して余裕ができた方、
神戸岡本の静謐な環境の中で、もう一度ゆっくりと学びを深めてみませんか。

1年間のプログラムとして6つのコースを開講

下表の6コースの中から1コースを選択していただきます。

※コーディネーター職名は、2024年度時点

分野	コーステーマ	コーディネーター	募集人員
人文科学系	大人の自己探求	教授 西川 耕平	20名
社会科学系	ネクスト・キャリアをどう生きるか	名誉教授 古田 清和	20名
多文化・国際系	多文化共生、グローバル社会で生きる	准教授 小西 幸男	20名
心理学系	ライフサイクルの心理学	特任教授 宮川 貴美子	20名
社会言語系	自分自身のことばを見つめ直す	名誉教授 都染 直也	20名
情報系	情報の世紀 ～21世紀を支える情報技術と科学～	教授 鳩貝 耕一	20名

在籍期間：1年間（4月1日～翌年3月31日）

※授業実施期間・定期試験期間は、本学の学年暦に記載の期間となります。

（授業および定期試験実施期間：4月から8月上旬、9月下旬から翌年1月下旬）

「人生100年時代の学び」プログラムの特徴

● 神戸岡本の静謐な環境にある甲南大学のキャンパスでの学び

このプログラムは本学岡本キャンパスで開講します。神戸岡本の静謐な環境の中で、甲南大生といっしょに学び、交流する機会を持つことができます。

● 現在の社会・経済環境の中で充実した豊かな人生を送るための6つのコース

ダイナミックに変化する社会・経済環境の中で、充実した豊かな人生を設計する場として、人文科学系、社会科学系、多文化・国際系、心理学系、社会言語系、情報系の6つのコースを設けました。自分の人生を見つめ直してみたい方、定年後を見据えた資産形成について知りたい方、グローバル社会を見据えた異文化受容について考えてみたい方、心理学の観点から「生きること」について考えてみたい方、社会におけることばの働きについて考えたい方、情報技術の現状としくみについての理解を深めたい方など多様な興味に対応しています。

● 関連知識を身につける科目群と、リカレントワークショップによる指導

各コースのテーマに関連する一定の科目群から、自身の興味に合わせて授業を選択(4科目以内)して受講し、幅広い教養や実践応用力を身につけます。後期に実施する「リカレントワークショップA」では、各コースに関する豊富な知見を有するコーディネーターの指導の下、履修生各自が決めたテーマについて学びを深めていきます。

● 「履修証明書」を発行する履修証明プログラム※

本プログラムは一定のまとまりのある課程となっており、一定の成績を収めてプログラムを修了した方に「履修証明書」を交付します。

※履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、主に社会人を対象にした一定のまとまりのある学習プログラムです。その修了者に対しては、学校教育法に基づく履修証明書を交付します。

● 学内施設の利用

図書館、サイバーライブラリ、トレーニングルーム、自由利用パソコン教室、食堂等を利用していただけます。

よく利用する大学内の施設ランキング

1位	図書館
2位	サイバーライブラリ
3位	食堂
4位	カフェ・パンセ

キャンパスの至る所に置かれているベンチで、木漏れ日の下、お弁当を食べたり風に吹かれて本を読んだり楽しんでいきます。



カリキュラムの概要

所属コースごとの担当教員や同じプログラムで学ぶ方と一緒に考えながら学びを深めていく「ワークショップ」と、各自の関心に応じて現役の大学生と一緒に教室で受講する講義科目で構成されます。



区分	本プログラムで履修できる科目数	「履修証明※」に必要な科目数
必修科目	1科目 (リカレントワークショップA)	1科目 (リカレントワークショップA)
選択必修科目	4科目以内	2科目以上

注1 本学は2学期制であり、当プログラムの科目は学期ごとに完結します。

注2 前期に履修した科目で「不可」の成績の場合、後期に同じコースに配置されている未修得科目を履修することができます。

注3 本プログラムでは、上表のとおり必修科目と選択必修科目の合計3科目以上「合格」(秀・優・良・可)の成績評価を収めた場合、「履修証明」を授与します。

コース概要・授業科目表

※事情により科目が休講となる場合もあります。※コーディネーター職名は、2024年度時点

どのコースに所属しても「基礎共通科目」の人文科学系・社会科学系・自然科学系・学際融合系・国際言語文化系・スポーツ健康系の各授業科目の中から履修する科目を選ぶことができますが、コースごとにコーステーマとより深く関連する科目を「推奨科目」としてピックアップしますので履修する科目を選ぶにあたって参考にしてください。

「大人の自己探求」 (人文科学系コース)

全学共通教育センター
教授
西川 耕平

コース概要

さまざまなテーマの問答を素材とした対話で自らの人生体験を振り返り、自己理解を深めます。最終的には、多彩な受講生相互の真摯な対話から人生体験という物語に埋もれている信念や価値や美意識を再確認し、人生を刺激する、新しい意味や意義を体得します。

基礎共通科目 (推奨科目)

本紙中面右下「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|---------------|
| ・哲学 | ・宗教学 | ・社会思想史 | ・癒しの諸相 |
| ・倫理学 | ・芸術と社会 | ・地域と文化 | ・自己の探求 |
| ・哲学プラクティス | ・芸術学基礎論 | ・歴史と社会 | ・社会を読み解く |
| ・女性学 | ・現代思想 | ・まちづくりと行政 | (クリティカルシンキング) |
| ・現代の芸術 | ・越境する文化と文学 | ・認知科学 | ・文章表現論 |

キャリア創生共通科目

- ・入門マネジメント
- ・実践マネジメント

リカレント教育科目

- ・リカレントワークショップ A
(大人の自己探求)
- ・リカレント特設科目 AI

「ネクスト・キャリアを どう生きるか」 (社会科学系コース)

名誉教授
古田 清和

コース概要

定年を迎えた後の働き方、生きがいや地域社会とのつながりなど、充実したライフ・プランをさまざまなポイントから考えます。まず自身の現状を棚卸して、生きがいを得られる資産形成や、ネクスト・キャリアの資産を確保するための保険や社会保障の仕組みについて、また、保有資産の贈与や相続について税金も含め考えます。

基礎共通科目 (推奨科目)

本紙中面右下「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- | | | | |
|---------|------------|-----------|---------------|
| ・地域と文化 | ・社会とファイナンス | ・法と情報 | ・社会を読み解く |
| ・社会学 | ・社会福祉論 | ・まちづくりと行政 | (クリティカルシンキング) |
| ・経済学 | ・ボランティア論 | ・地域創生 | ・文章表現論 |
| ・暮らしと経済 | ・地域連携入門 | ・癒しの諸相 | ・生涯スポーツ論 |
| ・福祉と経済 | ・社会生活と法 | | ・健康と生命科学 |

キャリア創生共通科目

- ・入門ビジネス法務
- ・入門パーソナルファイナンス
- ・入門商業簿記 I
- ・ビジネスを支える法の世界
- ・入門マネジメント
- ・入門ビジネス会計
- ・実践ビジネス会計
- ・地域ファンリテイト

リカレント教育科目

- ・リカレントワークショップ A
(ネクスト・キャリアをどう生きるか)
- ・リカレント特設科目 AI

「多文化共生、 グローバル社会で生きる」 (多文化・国際系コース)

全学共通教育センター
准教授
小西 幸男

コース概要

グローバル化で多様に化する社会について、世界の地理的条件・福祉システム・歴史・宗教観・文化・社会構成など多角的に学び、社会貢献・世代間交流・日常生活・海外旅行・ビジネス展開・国際交流・海外ボランティアにどのように取り組めるのかをグローバルとグローバルの双方から考えます。「多文化共生」は外国だけではなく、世代間での文化の違いについても分析します。

基礎共通科目 (推奨科目)

本紙右隣り「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- | | | |
|------------|----------|-----------------|
| ・歴史学 | ・歴史と文化 | ・歴史と社会 |
| ・文学 | ・地域と文化 | ・ボランティア論 |
| ・宗教学 | ・歴史とメディア | ・グローバルリゼーションと文化 |
| ・芸術と社会 | ・社会学 | ・社会を読み解く |
| ・越境する文化と文学 | ・国際関係論 | (クリティカルシンキング) |
| ・社会思想史 | ・現代社会論 | ・文章表現論 |

キャリア創生共通科目

- ・世界の中の日本 I
- ・世界の中の日本 II
- ・ビジネスを支える法の世界
- ・入門マネジメント
- ・実践マネジメント

リカレント教育科目

- ・リカレントワークショップ A
(多文化共生、グローバル社会で生きる)
- ・リカレント特設科目 AI

「ライフサイクルの心理学」 (心理学系コース)

全学共通教育センター
特任教授
宮川 貴美子

コース概要

わたしたちは生まれてから死ぬまでに多数のライフイベントを経験します。このライフイベントは、さまざまな感情—喜び・悲しみ・楽しみ・怒り・後悔などに彩られています。本コースでは人の誕生から死をテーマとするライフサイクルに着目し、各発達段階の心理的特性と発達課題、とりわけ人生後半の課題について学ぶとともに、心理学の観点から、履修者それぞれが意味のある「生」を生きることを考えます。

基礎共通科目 (推奨科目)

本紙右隣り「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- | | | | |
|-----------|-----------|---------------|---------------|
| ・心理学 | ・生命と倫理 | ・ケアの倫理 | ・社会を読み解く |
| ・哲学プラクティス | ・感情・人格心理学 | ・ライフプラン教育 | (クリティカルシンキング) |
| ・女性学 | ・芸術学基礎論 | ・癒しの諸相 | ・文章表現論 |
| ・現代の芸術 | ・現代思想 | ・自己の探求 | |
| ・宗教学 | ・芸術史 | ・心の健康科学 | |
| ・芸術と社会 | ・家族関係論 | ・人体の構造と機能及び疾病 | |

キャリア創生共通科目

- ・障害者・障害児心理学
- ・福祉心理学

リカレント教育科目

- ・リカレントワークショップ A
(ライフサイクルの心理学)
- ・リカレント特設科目 AI

シラバス

各科目の内容や授業形態は、シラバス(授業計画)でご確認ください。

「自分自身のことばを見つめ直す」
(社会言語系コース)

名誉教授
都染 直也

コース概要

「私」は、どんなことばをどんなふうに使っているのか？自分のことばを客観的に分析した経験があるでしょうか。このコースでは「ことばが社会のなかでどのように使われ、どのような働きをしているのか」という社会言語学的観点から、ことばについて考えたいと思います。関連授業を通して知識を広め深めるとともに、ワークショップでこれまで気づいていなかった新しい「私」を見つけましょう。

基礎共通科目(推奨科目)

本紙下部「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- ことばと社会
- コミュニケーション論
- 日本語の諸相
- 比較文化
- 日本研究
- 越境する文化と文学
- 伝統文化を学ぶ
- 歴史と文化
- 地域と文化
- 国際化の歴史
- 生活の歴史
- 社会学
- 地理学
- 地域連携入門
- まちづくりと行政
- ヨーロッパの言語と社会
- 環境と地理
- 感性情報
- 認知科学
- 自己の探求
- ヨーロッパの言語と社会
- アジアの言語と社会
- 日本理解

キャリア創生共通科目

- 世界の中の日本Ⅰ
- 世界の中の日本Ⅱ

リカレント教育科目

- リカレントワークショップA
(自分自身のことばを見つめ直す)
- リカレント特設科目AI

「情報の世紀
～21世紀を支える情報技術と科学～」
(情報系コース)

全学共通教育センター
教授
鳩貝 耕一

コース概要

21世紀における情報技術は、社会の様々な分野において革新をもたらし、生活の質を向上させています。このような社会の構築が可能になったのも、21世紀において情報技術が急速に発展したおかげだと言えます。この授業では、調査や演習を通じインターネット、人工知能(AI)、量子コンピュータなど社会を支える広範な情報技術の現状と仕組みについての理解を目指します。

基礎共通科目(推奨科目)

本紙下部「全コースで履修できる基礎共通科目」からも選択できます。

- 歴史とメディア
- 産業と経済
- 企業と情報
- 社会とファイナンス
- 地域とメディア
- 法と情報
- 数学
- 物理学
- 自然科学史
- 現代生活と物理学
- 現代生活と数理科学
- 現代生活と最先端科学
- 国際化と情報ネットワーク
- 国際社会における最先端科学
- 知能情報
- 生体情報
- 感性情報
- 生命情報
- 認知科学
- 情報社会のセキュリティ

キャリア創生共通科目

- IT応用
- 情報テクノロジーⅠ
- 情報テクノロジーⅡ
- ICTセキュリティ
- 基本情報技術
- 統計基礎
- データサイエンス基礎
- 統計活用情報分析Ⅰ
- 統計活用情報分析Ⅱ
- 知的財産とイノベーションⅠ
- 知的財産とイノベーションⅡ

リカレント教育科目

- リカレント
ワークショップA
(情報の世紀)
- リカレント特設科目AI

全コースで履修できる基礎共通科目

	人文科学系	社会科学系	自然科学系
A群	<ul style="list-style-type: none"> 哲学 倫理学 心理学 歴史学 文学 哲学プラクティス 女性学 現代の芸術 宗教学 	<ul style="list-style-type: none"> 社会学 法学 経済学 経営学 政治学 地理学 国際関係論 	<ul style="list-style-type: none"> 数学 物理学 化学 生物学 地学 生命化学
B群	<ul style="list-style-type: none"> 生体人類学 環境と文学 芸術と社会 生命と倫理 人権(同和)の問題 感情・人格心理学 DE&I入門 	<ul style="list-style-type: none"> 産業と経済 企業と情報 歴史と経済 現代社会と企業 世界と経済 暮らしと経済 福祉と経済 社会とファイナンス 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史 生物の歴史 自然と人間 自然科学史 技術の歴史 環境と地理
C群	<ul style="list-style-type: none"> ことばと社会 コミュニケーション論 イメージと文化 日本語の諸相 比較文化 芸術学基礎論 現代思想 近現代の文学 日本研究 越境する文化と文学 伝統文化を学ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会論 現代都市論 公共哲学 環境人間学 社会福祉論 家族関係論 歴史と社会 ボランティア論 グローバル化と文化 地域連携入門 地域とメディア 	<ul style="list-style-type: none"> 現代生活と物理学 現代生活と数理科学 現代生活と最先端科学 国際化と情報ネットワーク 現代生活と生命化学 国際社会における最先端科学 Science in the World Today Science, Technology and SDGs 現代生活と生物学 核と環境 環境の化学 大気と海洋 Science News
D群	<ul style="list-style-type: none"> 社会思想史 歴史と文化 文学と歴史 地域と文化 芸術史 歴史とメディア 国際化の歴史 生活の歴史 	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法 社会生活と法 現代政治論 家族関係と法 少子高齢社会と法 法と情報 環境法学 財産と法 消費者問題 市場と法 組織と法 地域創生 まちづくりと行政 	<ul style="list-style-type: none"> 知能情報 生体情報 感性情報 生命情報 認知科学

学際融合系	国際言語文化系	スポーツ健康系
<ul style="list-style-type: none"> ケアの倫理 ライフプラン教育 癒しの諸相 自己の探求 心の健康科学 保健衛生 人体の構造と機能及び疾病 環境教育の実践 食品科学 フロントランナー講座 情報社会のセキュリティ 社会を読み解く (クリティカルシンキング) 文章表現論 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの文化を学ぶ アジアの文化を学ぶ ヨーロッパの言語と社会 アジアの言語と社会 国際理解 国際理解 English 日本理解 Japan Topics Culture Topics I Culture Topics II English for Science Science Writing 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ心理学 スポーツ運動学 スポーツ文化論 スポーツマネジメント 生涯スポーツ論 スポーツ医学 運動生理学 健康と生命科学 スポーツコーチング論 トレーニング論 基礎スポーツ健康科学 スポーツ社会学



VOICE 履修生の声を集めました。

Q 「人生100年時代の学び」プログラムに申し込まれたきっかけ/動機



退職後、自宅で過ごす時間が増え外出できる機会を探していた時、このプログラムを見つけ個別相談会に参加しました。担当教員やリカレント教育センター長と直接面談することで、試験やレポート作成など課題が多く不安がありましたが無事申し込みました。人生の先輩から退職後は「キョウイクとキョウヨウが必要、今日行くところ、今日用がある」と教えられ、このプログラムはさらに教養を得る機会があると思い申し込みました。



60歳を超えて、これからの人生を考えるにあたって、一人で考え込むのではなく、講師の先生をはじめリカレント生等、他の人と学ぶことで何か得るものがあるのではないかと考えて申し込みました。

Q 「人生100年時代の学び」プログラムの魅力



自分と同じ思いの人で参加している人や現役の学生と一緒に学習できること(その環境)が一番の魅力です。また、大学の施設も現役の学生と同じように利用できたり、様々なプログラムにも参加できることがありがたいです。



複数のコースから選べる事、一般の授業も受ける事ができ、全く世代の違う学生の考え方に触れるのはとても新鮮で刺激的です。授業では、現役生の方々とチームを組み、テーマを決めて調べ発表しました。メンバーで何度もZoomでミーティングをし、発表したのは、貴重な経験でした。発表後「僕たちのチームが優勝ですよ」と言われ、世代の違いがある事を忘れてチームワークの良さ、達成感を感じました。

Q 甲南大学のサポート体制について



リカレントプログラムの担当の方々だけでなく、学生部・図書館・サイバーライブラリ・地域連携センター等での施設の職員の方も、こちらの質問や問い合わせにとても親切で丁寧に対応してくださることが、とてもありがたく助かっています。また、大学のポータルサイトやメールなどできめ細かく連絡していただけることもありがたいです。



サイバーライブラリの職員のサポートには感激しました。パソコンのスキルがない私に、電源の入れ方から丁寧に教えてくださいました。

Q 出願を考えておられる方へのメッセージ



これからの人生で何をしようか、どうやっていったらいいのだろうなどと思っている方・迷われている方にお勧めします。同じような状況の方が多くすぐ学友ができるはず。現役学生と一緒に授業を受け、グループワークや共に課題解決する中でとても刺激をうけます。プロのトレーナーによる運動の基礎指導を受けたり、図書館を始め学内施設の人・物・情報などの資源を存分に利用できます。社会人として経験してきたからこそ見つかる贅沢で貴重な空間と時間、充実感があります。



人生経験を基に学び直す事で、これからの人生100年時代は、きっと楽しいものになると思います。学びたいと思う気持ちが少しでもあれば出願してください。



時間割モデル

(前期週1回・後期週3回通学)



Aさんの場合

	前期					後期				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
9:00~10:30	授業									
10:40~12:10	トレーニングルームでエクササイズ							授業		
昼休み	学生食堂で昼食							リカレント仲間と カフェテリアで昼食		
13:00~14:30	図書館で調べ物					パソコン室で ネット検索			授業	
14:40~16:10	授業					授業			独習スペースで 課題レポート作成	

(前期週2回・後期週2回通学)



Bさんの場合

	前期					後期				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
9:00~10:30										
10:40~12:10		授業					授業	授業		
昼休み		学生食堂で昼食						ブックカフェで一息		
13:00~14:30	異文化交流スペースの アクティビティに参加	サイバーライブラリで 雑誌・新聞をチェック						授業		
14:40~16:10	授業	授業						先生に質問があつて面談予約		

授業時間割

1回あたりの授業時間は90分です。

年間スケジュール



1限	9:00～10:30
2限	10:40～12:10
3限	13:00～14:30
4限	14:40～16:10
5限	16:20～17:50

4月	開講式、前期授業開始
7月～8月	前期授業終了、前期末試験
8月～9月	夏期休業 ※夏期に集中して行う科目のみ開講します。
9月下旬	後期授業開始
12月下旬～1月上旬	冬期休業
1月～2月	後期授業終了、後期末試験
3月	閉講式

履修料 120,000円 ※下記の該当者は100,000円とします。

履修生登録料 5,000円 ※下記の該当者は履修生登録料を免除します。

※甲南大学、同大学院、同専門職大学院、甲南高等学校・中学校、旧制甲南高等学校、フランス甲南学園トゥレーヌの卒業生または修了生、本プログラムの修了生または履修中の者。

出願期間
1次募集：2024年11月1日(金)～2024年11月30日(土) (最終日消印有効)
2次募集：2024年12月20日(金)～2025年1月31日(金) (最終日消印有効)
(注) 1次募集の結果、2次募集を実施しない場合があります。
2次募集の実施については、12月16日頃にリカレント教育センターホームページでお知らせします。



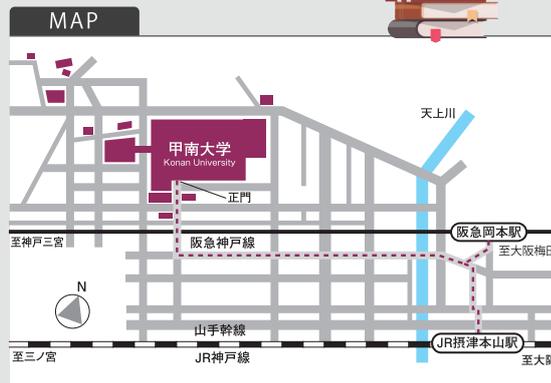
出願方法 募集要項に記載の必要書類を簡易書留郵便で送付してください。

アクセス

阪急「岡本」駅より徒歩約10分、JR「摂津本山」駅より徒歩約12分



※乗り換え時間は含みません。



本プログラムに関するお問い合わせ先

甲南大学 社会連携機構 リカレント教育センター
〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1
TEL:078-431-4341(代表)/TEL:078-435-2598(直通) E-mail:recurrent@adm.konan-u.ac.jp
お問い合わせ時間 平日 9時～17時



最新情報はリカレント教育センターのホームページをご確認ください。<https://www.konan-u.ac.jp/education/recurrent/>

詳しい内容はWEBで検索
甲南リカレント